

● 明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム



2年目を迎え、学部学科のご協力のもと第2回インテグレーション講座を開催しました。学生のボランティア実践も着実に積みあがっています。

(詳しくは P17)

● 1 Day for Others

昨年度に引き続き、春学期・秋学期の2期制を実施、延べ762名の明学生が参加しました。ボランティアポータルサイトの導入により、情報収集・エントリーがわかりやすく。学生自身の振り返りもポータルサイトで実施しました。

(詳しくは P22)



1日社会貢献プログラム



● 「Do for Smile@ 東日本」プロジェクト

学生セクション



明学・大槌町吉里吉里復興支援プログラム 陸前高田復興支援プログラム

東日本大震災復興支援活動。震災発生直後から延べ1,800名以上の学生が現地で活動しています。

大槌町、陸前高田二つのセクションは、合同スタディツアーという形でお互いの活動地を訪れ、町を知り、現地の方々と交流しました。自分の活動にフィードバックできるように、共通点や異なる点を考察しました。

(詳しくは P26)



● 明学レッドクロス

学生セクション



日本赤十字社とのボランティア・パートナーシップのもと、活動しています。新たな取り組みとして、日本赤十字社活動の歴史等を学ぶ本社見学会や、学生の献血を促進するため都内の魅力的な献血ルームを紹介するリーフレット作成、キャンパス近隣地域の防災炊き出し訓練への参加も実施しました。
(詳しくは P47)

● 地域活動

学生セクション

横浜地域活動／白金地域活動

キャンパス近隣の地域で、地域のみなさんと一緒に地域活性化に取り組んでいます。お祭りでは得意の子ども向けブース運営で、運動会では司会や競技のデモンストレーションで活躍。さまざまな世代の方々との交流が学生の学びにつながっています。



今年度は新たな取り組みとして、横浜市消防局横浜市民防災センターの「防災カフェまつり」に他セクションと共同で参加。子どもたちに楽しく防災を学んでもらうため、ブースにも工夫を凝らしました。

(詳しくは P53)

● 海外プログラム事業部

学生セクション



「Think globally, step forward ～世界を変える小さな一歩～」を理念に、「ジェンダー」「食糧」「格差」をテーマとした活動を実施しました。地域の子どもたちを対象としたワークショップ開催は初めての試みでしたが、自分たちの学んできたことをわかりやすく伝えるにはどうすればいいか、を考える機会となりました。

世界の子どもたちの命を救うワクチンを届けるため、大学内でペットボトルキャップの回収もおこなっています。

(詳しくは P63)

ボルネオ島に生息するオランウータンなどの希少動物を守るため、現地産の淡水パールでアクセサリーを手作りし、売上げの半分を自然保護団体に寄付する活動を続けています。団体（特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン）の例会に出席し現地の状況を学んだり、フリーマーケットなどの販売の場で学んだことを伝えたりするなど、知識を還元していくことにも力を入れています。

（詳しくは P68）



新学期的新入生勧誘期間にボランティアセンター前でアクティブに活動している明学生にそれぞれの大学生活をプレゼンしてもらうなど、今年度も独自のイベントを企画・実施しました。

（詳しくは P71）

ボランティアセンター活動報告会の運営だけでなく、学生メンバー全体の活性化に取り組み、活発に活動しました。各セクションから事務局担当学生を選出することで、横の連携も強化。セクション協働企画も生まれました。堅苦しくならないようゲーム形式のグループワーク開催など随所に工夫をし、学生メンバー同士をつなぎ、センターがよりよい機能を果たせるように取り組みました。

（詳しくは P73）

